



幼・保・小連携リーフレット

～幼児教育から小学校教育への円滑な接続を目指して～

幼稚園・保育所（園）・こども園・小学校がそれぞれの教育（保育）のねらいや指導（保育）内容を共通理解し、長期的な視点に立った教育（保育）活動を展開することにより教育の充実を図りましょう！



生きる力の育成

小学校



●「資質・能力」

（ア「何を理解しているか、何ができるか」、イ「理解していること・できることをどう使うか」、ウ「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」の三つの柱に整理）

<基本方針>

- ①教育基本法等を踏まえ、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを目指すこと。
- ②知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランスを重視し、維持した上で、知識の理解の質を更に高め、確かな学力を育成すること。
- ③道徳教育の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体を育成すること。

*新学習指導要領 総則から

幼稚園・保育所(園)

【幼稚園】

●幼児の生活する姿から捉えた幼稚園教育において育みたい資質・能力

- ①健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養うこと。
- ②他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。
- ③周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。
- ④経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。
- ⑤感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

*新幼稚園教育要領から



【保育所（園）】

●子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うことが保育の目標

- ①十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を適切に満たし、生命の保持及び情緒の安定を図ること。
- ②健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと。
- ③人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。
- ④生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培うこと。
- ⑤生活の中で、言葉への興味や関心を育て、話したり、聞いたり、相手の話を理解しようとするなど、言葉の豊かさを養うこと。
- ⑥様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培うこと。

*保育所保育指針から

共通実践できること(したいこと)<重点>

- ①友だち(人)とうまく関われる(自立心・人と関わる力)
- ②落ち着いて行動できる(心の安定・交通安全)
- ③言葉を正しくつかえる
- ④生活リズムを整える

*①～④は、子供側に関する事柄です。

⑤親とうまく関われる

⑥情報交換の場をつくる(工夫する) ⇒保護者とあるいは幼・保・小相互で。

*⑤⑥は、保育・指導者側に関する事柄です。

小学校入学時を楽しくすごすために必要な12の力！

チェックしてみましょう！

- 1 早寝・早起き，朝ごはん，朝の排便など，生活習慣が身に付いている。
- 2 手洗い，うがい，鼻かみ，用便（和式・洋式どちらの便器も使えるように）が一人でできる。
- 3 衣服の着脱が一人でできる。
- 4 自分の持ち物がわかり，自分で整理整頓できる。（ハンカチとティッシュは，いつも持っている。）
- 5 箸などを正しく使い，決められた時間内に食事をとることができる。（20分ぐらいで）
- 6 話す人の目を見て，正しい姿勢で人の話を聞くことができる。
- 7 ある程度の時間，椅子に座ってられる。（小学校は45分授業です）
- 8 場面に合った挨拶や返事などができる。
「おはようございます。」 「はい。」 「いいえ。」 など
- 9 経験したことや考えたこと，したいこと，してほしいことなどを，言葉で伝えることができる。
「ありがとうございます。」 「ごめんなさい。」 「～をしたいです。」 「～をしてほしいです。」 など
- 10 ろうかや道路を安全に歩くことができる。
- 11 きまりを守って，友達と楽しく生活することができる。
- 12 十分に体を動かすことができる。

【参考】幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり
- ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形，標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

（「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」より）